

Aroma Pot

No. 33

あ る ま ぼ っ と

info@aromapot.co.jp
http://www.aromapot.co.jp

News & Views

アロマセラピー・ケアグループ 12 年間の歩み

アロマセラピー・ケアグループは、1998 年 1 月アロマセラピーを活用して、医療福祉領域で入院したり通所されている方々の QOL 向上を目的に、Vivat Holistic Training (当時はアロマセラピー アソシエイツ)のコース卒業生有志でスタートしたグループです。

イギリスでは、このような医療福祉領域で活用する補完療法(Complementary therapy)という領域が確立されていて、一部の施術は民間の健康保険の適用になります。

アロマセラピー・ケアグループのベースは、1987 年英国 IFA が 医療福祉機関に IFA 認定アロマセラピストを派遣するプロジェクト「アロマセラピー・イン・ケア」を土台にして創られたものです。ケアグループ発足には、IFA 創設者であり、1987 年当時の IFA 会長であったジャーメイン・リッチ女史の指導のもとで、細かい規則についてアドバイスをいただけたことは非常に幸運だったと思います。

最初は、医療福祉従事者に無料でアロマセラピーマッサージを体験していただき、補完療法としてのアロマを知っていただくことから始めました。また、病院からの要請に応じて、アロマを使った芳香剤を作ったり、ブレンドオイルを作る短いワークショップも始めました。活動を開始して半年経たないうちに、都内の病院からアロマセラピーを導入したいと要望があり、以来 12 年間、緩和ケア病棟、一般病棟、慢性病棟、産婦人科病棟、高齢者福祉施設など様々な医療福祉施設でアロマセラピーを提供

してまいりました。また、毎年スクール卒業生がケアグループに加わり、現在も様々な病気を抱えていらっしゃる多くの患者さんにアロマセラピーを実践しています。

先日ある病院でスタッフの方から嬉しい言葉をいただきました。「『アロマが一番の楽しみ』とおっしゃっている患者さんが多いです。皆さん、アロマを楽しみに待っていらっしゃいますよ」と話してくださいました。患者さんがアロマが一番の楽しみにして待っていてくださる、というのは、アロマセラピストにとって大変光栄なことと思います。

12 年間、多くの患者さんや医療福祉施設のスタッフの方々に支えられてきました。

大腸がん末期でホスピスに入院中の男性の患者さんは、背中のアロママッサージをいつも楽しみにされていました。マッサージが終わると、「あー、気持ち良かった。これでしばらく頑張れるよ」と喜ばれると同時に「君はこれから、もっと(アロマを)広めていかなければならないよ」といつも声をかけてくださいました。欧米では知られている補完療法も、日本での認知度は非常に低く、補完療法としてのアロマセラピーも、ほとんど知られていないのが現状です。流行とは違う本来のアロマセラピーを広めるため、これからも地道な活動を続けてまいります。

アロマセラピー・ケアグループの活動報告は当研究所 HP: <http://www.aromapot.co.jp> 「医療現場からの報告」でご覧いただけます。